

44号です。乳がんで同級生が亡くなりまして。定期的な検診をしてください、よろしくお願致します。



豊中らしさを創る

無所属 36歳

豊中市議会議員

温故創新

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと豊中市！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールへ向かって走ります。

豊中に嫁いだ明智光秀の娘。

安土桃山時代の婚姻関係

明智光秀の娘と言えば、細川家に嫁いだ細川ガラシャが有名ですが、豊中市史によると、明智光秀の娘が今西春房（奈良の春日大社の目代として、豊中市の一部を治めていました）と結婚しました。さらに興味深いのは、二人の間に生まれた大蔵姫は森蘭丸（本能寺の変で討死）の弟と結婚しています。

禁制による平和維持

戦国の当時は、地域の平和を維持するため、禁制（不法行為を禁ずる法令）を権力者によって発給してもらう必要がありました。歴代の今西家の当主は、地域の平和を維持するために近隣の権力者と婚姻関係を結びました。

今西家は12世紀頃から地域を治めてきましたが、山崎の合戦（羽柴秀吉と明智光秀が争い、秀吉が勝利）で明智光秀に加勢したため、領地を没収されました。現存する南郷目代今西氏屋敷は国の重要文化財となっています。

明智光秀による禁制

豊中市史によると、本能寺の変からわずか五日後に、明智光秀による禁制が石蓮寺村（現在の豊中市若竹町）に対して発給されています。これは今西氏と明智氏が縁戚関係にあったからこそ、光秀がいち早く禁制を出したのかもしれないですね。

迷子の高齢者を見守って。

徘徊者保護の体験談

私の前を歩く人たちが避けて通る先には、高齢の女性がいました。外出とは思えない服装で裸足、手に持った携帯電話を無言で私に渡してきました。

その携帯電話から「お母さん、お母さん！」という声がかすかに聞こえました。「はい、もしもし？」と携帯電話を受け取って応答すると、「あなたは誰？母はどこですか？」と聞くので、「通りすがりの者で、桃山台の近くです」と答えました。話を聞いてみると、その方の家は東三国だそうで、高齢の女性は認知症で徘徊の末、豊中市にたどり着いたそうです。その場で一緒に迎えを待つことにして事なきを得ましたが、驚きを隠せませんでした。

広げられない認知症サポーター

豊中市では社会福祉協議会や警察と連携して徘徊SOSメールを整備しており、徘徊者保護に努めています。しかしながら、根本的には私たち一人一人が認知症を理解し、徘徊高齢者を発見した人が一早く声をかけることが肝要です。残念ながら、認知症サポーターの人口比率は府内で平均4.7%である一方、豊中市の平均は2.8%にとどまり、27年度末の3%目標すら未達の状況です。認知症に対する正しい知識が広がるよう、ご協力をお願いいたします。

余剰ガス売却による増収。

猪名川流域下水処理場において、消化ガスによる自家発電を行っており、余剰ガスを発電して売電を行えば、収益につながると提案してきました。

結果的には、余剰ガスを売却し、発電は民間業者に委ねることになりました。これにより毎年最大で7千万の増収となり、29年度から20年間で最大14億円の収益を見込んでいます。

再生可能エネルギーによる発電事業に参入した自治体もあり、自前で発電するほうが収益は大きいのですが、今まで処分していたガスを売却することで収益を生むようになったことは、行財政改革の大きな一歩です。

クリーンランド構造的課題

豊中・伊丹のゴミ処理場

クリーンランドは一つの独立した地方公共団体となっており、豊中市と伊丹市で発生するゴミを処理しています。しかしながら、クリーンランドで要した費用を豊中市と伊丹市で負担するため、赤字になることはなく、コスト意識に欠けています。

また、豊中市はごみ減量に努めていますが、伊丹市の不燃ごみは増加しています。クリーンランドは、こうした状況に対して、主体的に対応することが求められています。

とよなか創政記

議会改革のあり方

議会改革において、市民のみなさんの関心は、議員定数と議員一人にかかると経費であると思います。私は先の選挙でも公約したとおり、現在36名の議員定数を段階的に20名まで削減することとあわせて、議員の調査研究と立法能力を向上するため、議員一人に秘書を一人つけるべきだと考えています。

議員は専業か兼業か

36人の議員の中でも議員専業の人と、他の仕事と兼業している人がいます。私が専業なのは、豊中市の歴史を勉強したり、先進的な政策を研究したり、市民の方からの要望に迅速に対応できることが、議員として望ましいと考えるからです。しかし、「議員は収入のある人が、ボランティアでやればいい」というご意見をいただきます。将来的にはわかりませんが、現時点では議員専業が多く、受け入れられません。

仕事の増大と専門化

私が議員を務めた十年間で豊中市は中核市となったため、保健所業務の移管を受けました。また、府政改革でスポーツ業務を移管されるなど、予算規模も業務も拡大しています。一方、豊中市議会には報酬削減をした上で、行政サービスの効率性を監視し、より効果的な政策について提案しています。

twitter(matsuokaakimich)に加え、facebookでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

とりわけ都市部では、議員の仕事が増え続け、専門性も高くなっています。もし、ボランティアであれば、議員に責任を求めることはできません。

市議会として働いているか

各議員は一生懸命に働いています。が、多くは「議員個人の活動」になっており、「市議会として」は十分に働いていないと思います。議員提出議案は少なく、予算や条例の修正もなく、全会一致で決める議会改革や意見書採択は、少数意見が尊重されて前に進まないで、「市議会として」は活発に行動しているようには見えません。

議員を減らすべき、報酬を下げるべき

と言われても、私は甘受します。そんな市議会を変えたくて、十年務めてきました。市民のみなさんの目から見て未だ「変わった」と評価いただくには至っておらず、申し訳ありません。

議員個人の活動が多い

たとえば国政選挙などの期間には、極端に市議会の公務が少なくなり、選挙は重要であり、無所属の私でも様々な選挙に関わってきました。しかしながら、選挙や政党活動は「市議会として」の仕事ではありません。

また、議員は様々なボランティアをしていることが多く、公私の区別がつきにくいことがあります。後援会活動

などの政治活動を含めて、公私の線引きを厳に認識する必要があります。「議員個人の活動」が公務の日程調整に支障をきたしては、市議会の活性化などありえないので、本末転倒です。

議会活性化は市民の手で

市議会議員は4年任期ですから、近視眼的な議論になりがちで、若干名の定数削減でまとめようとしています。世論に配慮するため、体裁だけの定数削減を実施し、議会改革を断行したように見せかけても、行財政改革の効果は小さく、市議会はたいして変わらず、活性化しません。もっと大局的に将来を見通した議会の姿を議論し、計画的に定数削減を行い、活性化に必要な費用を計上していくべきです。残念ながら、パフォーマンス的な発言が正当化される世相ですが、美辞麗句に惑わされず、本質を見抜いてください。

「議会は必要ない、ボランティアにするべき」でしょうか？皆さんの意見を聞かせてください。「市議会としてしっかり働いて、豊中を良くしてほしい」という意見が多数であると信じてやみません。市議会の現状には、私たちの一票にも責任がありますので、投票した議員をチェックすること、市政に関心をもつことが必要不可欠です。市民のみなさんから信任いただけるよう、私個人はもちろん「市議会としても」しっかり働きたいと思えます。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

不在時は職員に連絡先をお伝えください。

TEL:06-6858-2525 (代表)
FAX:06-6852-2384 (議会控室)
Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1
※せっかくなご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。
※市議会会派：無所属の会として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

【伝言板】

- 緑と白のストライプが基調の衣服等を探しています。ネクタイ、ジャンパー、手袋、バッグなど、緑と白の縞模様を見つけたら、写メールなどで「ここで売ってるよ！」と、ご一報いただけたら幸いです。
- 市内全域に活動範囲を広げて、東奔西走しております。「よく見かけますけど、新人の議員さんですか？」と言われることもあります。皆さんの応援の輪を広げていただければ幸いです、よろしく願いたします。
- 「松岡あきみち」の看板(緑色、150 cm×40 cm)を人通りのある、目立つところに設置させてください。
- 活動経費として、皆様からのカンパをいただければ幸いです。ビール1杯、スイーツ1皿分で結構です、ご支援よろしく願いたします。
- お住いの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストへ「温故創新」を配布して下さるボランティアの方を募集しています。

【略歴】

しんでん幼稚園
市立南丘小学校
市立第九中学校
府立北野高校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連(JAバンク大阪)

【議員歴】
2007年 初当選 (2,791票)
2011年 2期当選 (5,457票)
2015年 3期当選 (6,024票)

第73代副議長
【2016年度】
総務常任委員会
総合計画等調査特別委員会
クリーンランド議会議員

